

西中学校区 保幼小中連携通信

グローイングアッププラン 2年目 [点を明確にするブロック連携]

第5号 平成30年12月10日 発行責任者 福田 真人

(西中学校区連携コーディネーター)

～西中校区合同研修会の振り返り～

夏休み中の小中合同研修へのご協力ありがとうございました。今年度は LINE 株式会社のオフィシャルインストラクターを講師にむかえ、SNS についての講演を行っていただきました。各学校でも SNS に関するトラブルは避けられない課題になっていると思います。小学校、中学校の児童生徒だけでなく、保護者、教職員も含めて我々大人も本当に正しい知識を持ち合わせていると自信を持って言えるのでしょうか？私たちこの問題に対応するために、また自分自身の利用のためにも SNS を学ぶ必要性があると思います。今回の研修の中では講義の内容やワークショップの中で、多くの発見があったと思います。私たち教職員がこの問題をどんどん学んでいくきっかけになればと思います。多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。その中から主なものを抜粋します。

「保護者への啓発が必要だと思った。保護者からも使い方を指導してほしいとの要望もあった。」

「大人の考えと子供の考えの違いがわかってよかった。」

「人によって気になる事、ならない事が異なること(嫌な言葉とか行為など)がよくわかりました。驚いたが勉強になった。」

「本校でも使ってみたいと思った。母の立場から LINE をつかう高学年になったら自分たちでマナーを考えるのもいいと思った。」

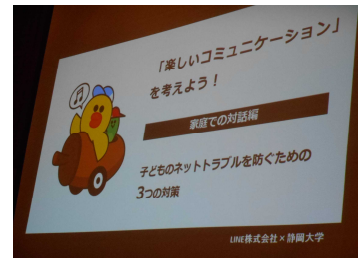
「SNS の危険な面について、私自身もあやしい部分があるので学んで子供に伝えなければならぬ。」

「様々な社会的・法的問題が多い社会なので「データ利用はしていない」と言っているが、そうでないことも報道されている会社なので、講師として妥当かどうか…」

「LINE 会社には悪いが、LINE などがあるから問題も生まれるのでこの会社はいらないと思う。」

今や小学校4年生で63.4%（17年度、西中校区・西陵中校区の小学校、小中生指調べ）、中学校では76%、卒業時には8割（17年度、西中学校生徒会アンケートより）の生徒児童が携帯電話、スマートフォンを所有しています。スマホ・SNSの問題は、家庭・学校は避けられない問題として考える必要があるのではないのでしょうか？学校は生徒児童に関してモラルの教育（ネットに関する教育、人とのつながりをはじめとする道徳教育など）をすすめる事、家庭においては、保護者に子供にスマホを持たせる上で責任を持って管理してもらう（利用に関するルールをつくる、子供の利用状況を把握するなど）事が必要ではないのでしょうか。（ちなみに前述のアンケートでは

西中学校の家庭でスマホ利用に関するルールを定めているのは57%です。ちなみに同じアンケートを行った西陵中では77%でした。）今回西中学校青健協の方も参加していただきました。地域の人々も含めて、家庭と学校が子どもの SNS、スマホに関する問題を協力して考えていかねばならないのではないのでしょうか。（西中青健協では保護者や地域の人々に向けて、LINE 株式会社の講演会を2月に企画されています。）



また、後半に関しては、「西中学校区各学校園の取り組み」を紹介しました。こちらの方でも多くのご意見、ご感想をいただいております。

「幼稚園の取り組みも知れてよかったです。」

「幼稚園は教科書がなく、場の設定をして工夫してらっしゃったのがわかりました。」

「幼稚園の先生の取り組みがおもしろく、とても参考になりました。」

「また幼稚園に来て子どもたちの様子を見に来てくださいね。」



「各校の取り組みがよくわかった。」

「3校が同じ目標を持って子どもを育てていることに気づきました。」

「中学校との段差を小学校としても少しでもなくしていければと思った。」

「中学校に向けての目標が持てた事、低から幼への引継ぎも小学校に入るまでにできてほしいことなどじっくり話してみたい。」

「目指す子ども像や西中学校区のゴールを共有して指導していくことは大切だと思うのでこれからも連携をしながら子どもたちを育てていきたいと思います。」

「中学校とのつながりについては毎日の事でいっぱいいっぱい考えられませんでした。」

小学校と中学校の連携に関しては一定の形ができつつあるかと思います。今回、西幼稚園の活動内容を紹介させていただきました。幼稚園での活動の一部を知っていただける良い機会になったのではないのでしょうか。今後も保幼小中による連携を一層進めていかなければなりません。



昨年度の各校園の活動の様子（研修パワポより）